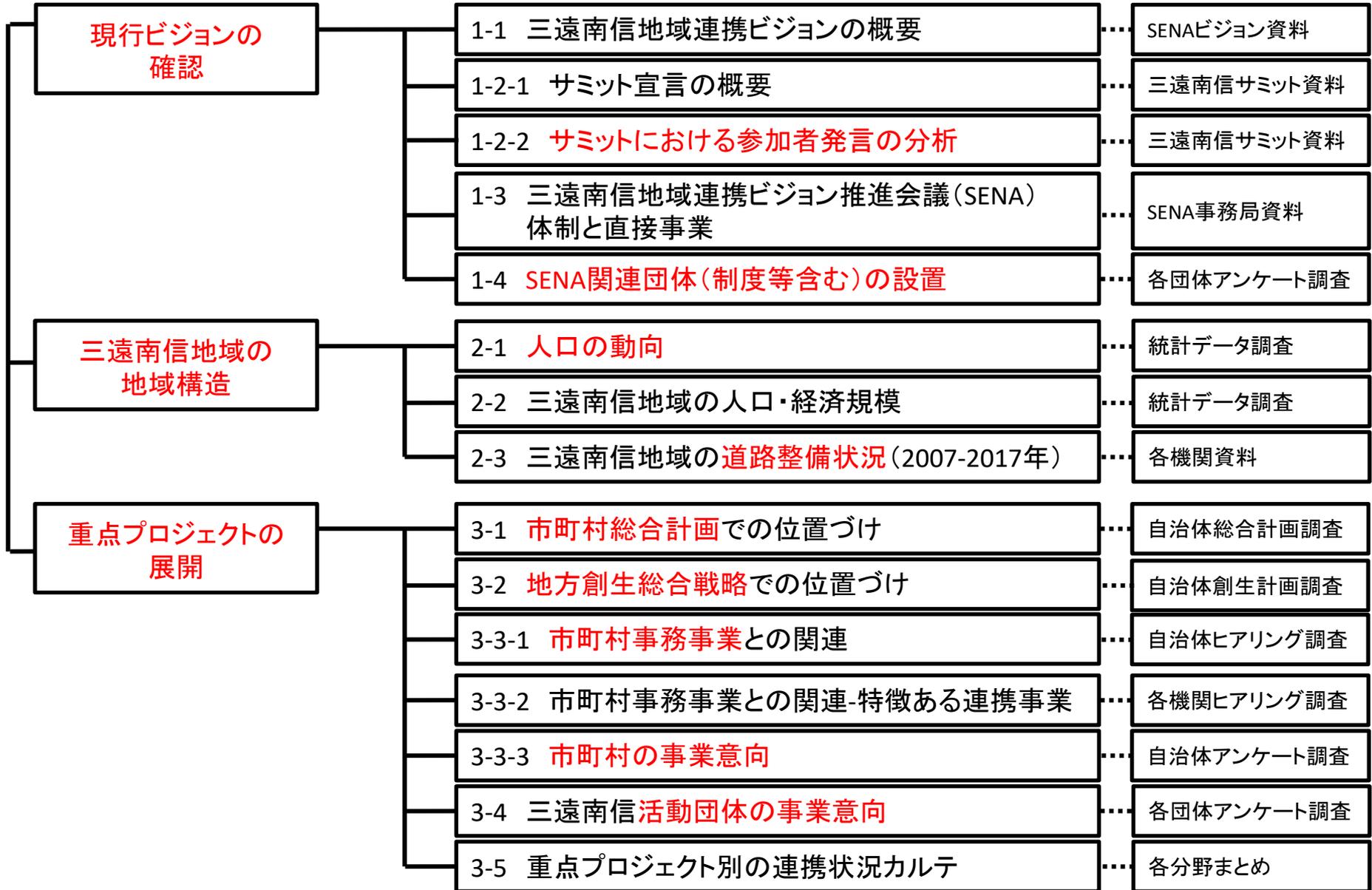


愛知大学三遠南信地域連携研究センター 第1次ビジョンの検証項目・手法

資料2

《手法・データ》



2.ビジョン検証のまとめ

1.現行ビジョンの確認

- ・SENA連携組織は拡大され、ビジョンの地域浸透が図られてきた。(p.3)
- ・SENA直接事業は人材育成・地域資源ネットワークであり、人口減少に対応する基本的事業である。(p.3)
- ・県境地域では連携組織が要となる。SENAは全国的先進事例ではあるが、**事業実施主体となる恒常的連携組織化**が課題。

2.三遠南信地域の地域構造

- ・**人口構造**では、2015年247万人から2040年208万人と16%減少・高齢化、下流都市部での変化が激しい。
- ・**人口ビジョン**では2030年5%10万人、2040年10%20万人増を計画している。
- ・**市町村の転入出**は5年間で合計37万人であり、戦略的視点が必要。そのうち約4割は三遠南信地域内であり、**地域内共同戦略が必要**である。(p.4)
- ・リニア中央新幹線、新東名、三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路をはじめとして、**基盤整備は近10年間で長足の進展**をみた。特に、リニア中央新幹線の開通計画や新東名の開通は、**長期的な地域構造変化**をもたらすものである。現在の国土形成計画で示される**スーパー・メガリージョン**における三遠南信地域全域の方向性を明確にすることが必要である。(p.6)

3.重点プロジェクトの展開

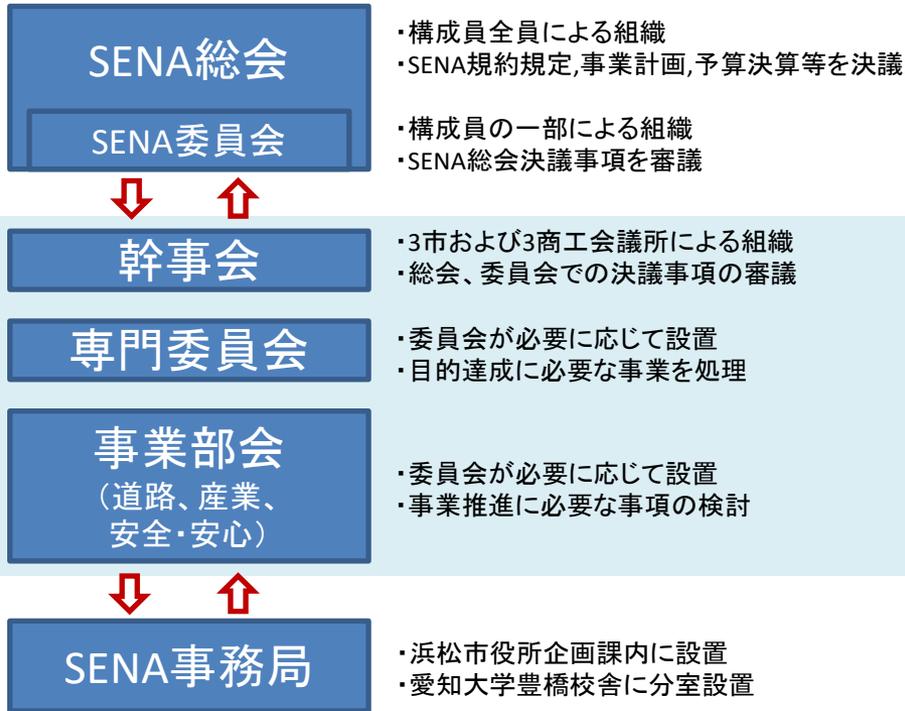
- ・市町村の**総合計画**に重点プロジェクトが必ずしも反映されておらず、各市町村の意識醸成と共に連携促進として**重点プロジェクト**を国や県などの行政計画に位置付ける必要がある。(p.7)
- ・**事業レベル**では共通性ある行政事業が多く、具体化しやすい**小規模事業の連携推進が有効**(p.8)。
- ・**地方創生事業**では、大半の市町村が似通った分野の取り組みを始めており、**移住定住、農商工連携、人材育成、婚活等の共通性が高く、広域化連携が有効**。(p.7)
- ・現時点での市町村、活動団体の**事業意向**からの**絞り込みが必要**である。(p.9、10)
- ・**越境事業**には、**越境連携組織化と個別事業活性化の2面が必要**。両者が整っているものは少なく、**個別事業の連携組織化**が必要。

4.次期ビジョンに向けた留意点

- ①**超広域地域(スーパー・メガリージョン)**での三遠南信地域の戦略化(基盤づくり)
 - ・**鉄道**:リニアの効果拡大、飯田線、東海道新幹線活用
 - ・**道路体系化**:三遠南信道路体系、豊浜環状道路体系
- ②**人口構造変化等に対応する長期的な基本事業の促進(くらしづくり)**
 - ・小地区での生活を確保する**医療福祉、改廃公共施設利用**
 - ・**水源地、防災ネットワーク**
- ③**実施先導事業**を選定した**重点化(ことづくり)**
 - ・**地方創生事業連携**:移住定住、農商工、婚活
 - ・**既存事業のネットワーク化**:道の駅、軽トラ市、高速道路
- ④**人財育成と交流の確保(人づくり)**
 - ・**行政、産業、地域人財の交流と研修**
 - ・**三遠南信の地域特性を活かす生き方モデルの推進**
- ⑤**県境を越える恒常的連携組織**の設置(場づくり)
 - ・**県境を越える事業推進母体(広域連合等)**
 - ・**産学官連携のプラットフォーム**

3.SENA体制と関連団体

《SENA体制》



【構成団体】

- ・39市町村(東三河:8、遠州:9、南信州:22)
- ・51商工会議所・商工会(東三河:14、遠州:17、南信州:20)
- ・3県(愛知県、静岡県、長野県)

【SENA事業】

- 1.三遠南信サミットの開催(平成21~28年度:33,666千円)
- 2.三遠南信アンテナショップ(平成21~28年度:11,282千円)
- 3.地域資源情報の発信(平成21~28年度:14,185千円)
- 4.住民団体の連携促進(平成21~28年度:691千円)
- 5.三遠南信地域社会雇用創造事業(平成22・23年度:558,297千円)
- 6.産学官連携事業(平成23~28年度:20,603千円)
- 7.三遠南信自動車道開通時の経済効果調査(平成25・26年度:1,025千円)
- 8.新・連携組織の検討(平成23~25年度:555千円)
- 9.重点プロジェクト推進事業部会(平成26~28年度:1,254千円)

《SENA主要関連団体:43団体》

重点プロジェクト	分野	団体・制度名	設立年	活動地域					
				三遠南信	東三河	遠州	南信州	その他	
道	道-①	道路	三遠南信道路建設促進期成同盟会	昭和60	○	○	○	○	
		道路	三遠南信自動車道早期開通期成同盟会	平成17	○	○	○	○	
	道-②	港湾	三河港振興会	昭和44		○			中国・韓国等
		港湾	御前崎振興会	昭和57			○		日本とその周辺
	道-③	鉄道	リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議	平成25					上伊那
	道-④	道路	浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会	平成20			○	○	
道路		東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	平成元			○			
道路		名豊道路建設推進協議会	昭和46			○		西三河	
道-①・④	道路	三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会	平成21	○	○	○	○		
技	技-①	産業経済	三遠南信しんきんサミット	平成20	○	○	○	○	
	技-③	産学官	三遠南信クラスター推進会議	平成22	○	○	○	○	
		産学官	食農産業クラスター推進協議会	平成19	○	○	○	○	
	技-④	産学官	学輸IIDA	平成23				○	
産学官		三遠南信3シンクタンク連携研究会	平成21	○	○	○	○		
風土	風土-①	歴史文化	三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会	平成8	○	○	○	○	
		歴史文化	南信州民俗芸能継承推進協議会	平成27				○	
		歴史文化	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会	昭和62				○	
		歴史文化	秋葉街道信遠ネットワーク	平成21			○	○	
		歴史文化	遠江歴史文化ネットワーク	平成20				○	
	風土-②	鉄道	JR飯田線活性化期成同盟会	平成26	○	○	○	○	JR飯田線沿線地域
		鉄道	天竜浜名湖線市町会議	昭和61				○	
	風土-③	観光	三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会	平成16	○	○	○	○	首都圏
		観光	愛知県東三河広域観光協議会	平成10					国内・海外
		観光	浜名湖観光圏整備推進協議会	平成20				○	
観光		静岡遠州観光ネットワーク	平成21			○		海外	
風土-①・③・④	地域交流	南信州交流の輪	平成22				○		
山	山-①	河川、湖沼	豊川水系総合開発促進期成同盟会	昭和47			○		
		河川、湖沼	天竜川流域砂防協議会	平成28	○	○	○	○	
		河川、湖沼	佐鳴湖地域協議会	平成27				○	
山-②	行政	南信州定住自立圏	平成21				○		
住	住-①	防災	三遠南信地域消防連絡会	平成21	○	○	○	○	
	住-③	防災	三遠南信災害時相互応援協定	平成17	○	○	○	○	
複数	道-①、技-①・②・③	産業経済	三遠南信地域経済開発協議会	平成9	○	○	○	○	
	技-②・③、風土-②	産業経済	東三河広域経済連合会	平成24				○	
	風土-①・③・④、山-①	地域交流	三遠南信住民ネットワーク協議会	平成24				○	
その他	-	行政	愛知・長野県境域開発協議会	昭和52			○	○	
		行政	上伊那広域連合	平成11				○	(上伊那)
		行政	南信州広域連合	平成11				○	
		行政	東三河広域連合	平成27			○		
	-	行政	遠州広域行政推進会議	平成23			○	○	
		教育	三遠南信教育サミット	平成8	○	○	○	○	
		教育	三遠南信教員交流	平成11	○	○	○	○	
教育	三遠南信中学生交流	平成11	○	○	○	○			
-	地域交流	三遠南信地域女性交流会	平成10	○	○	○	○		

※SENAビジョン合意年度(平成19年度)以降に設置された団体および制度は、設立年が で塗られている

・SENAビジョン合意年度以降の設立は23(5割強)、また三遠南信全体を活動地域とする団体は18(約4割)。

4-1.人口

・人口構造では、2015年247万人から2040年208万人と減少・高齢化、下流都市部での変化が激しい。**労働力人口64歳まで2015年より約35万人減(約24%減)、74歳まで延長した場合、64歳までの2020年程度(約30万人増)**となる。

・地方創生の人口ビジョンでは、2030年の社会保障・人口問題研究所推計値より約11万人増(約5%増)、2040年では約20万人増(約10%増)を見込んでいる。

・2010～2015年の人口移動では、市町村の転入出は合計37万人であり、戦略的視点が必要。そのうち約4割は三遠南信地域内であり、地域内共同戦略が必要である。

総人口

	2015年 実績 (万人)	社会保障・人口問題研究所推計値(万人)			人口ビジョン目標 (万人)			推計値と目標との差 ※目標－推計値(万人)		
		2020年	2030年	2040年	2020年	2030年	2040年	2020年	2030年	2040年
東三河地域	76	74	70	65	75	72	70	0.4	2.0	4.3
遠州地域	137	133	125	115	136	132	127	2.5	6.8	12.3
南信州地域	35	34	31	28	34	33	32	0.4	1.8	3.5
三遠南信地域	247	241	227	208	245	237	228	3.4	10.6	20.0

労働力人口

	社会保障・人口問題研究所 15～64歳人口推計値(万人)				社会保障・人口問題研究所 15～74歳人口推計値(万人)			
	2015年実績	2020年	2030年	2040年	2015年実績	2020年	2030年	2040年
東三河地域	46	44	41	36	56	54	50	45
遠州地域	82	77	71	60	100	96	86	77
南信州地域	19	18	17	14	24	23	21	18
三遠南信地域	146	140	129	111	180	174	153	141

出所:実績は国勢調査、推計値は社会保障・人口問題研究所、人口ビジョン目標値は各市町村の人口ビジョンを利用

人口移動

	転入		転出		転入－転出 (百人)
	(百人)	割合 (%)	(百人)	割合 (%)	
三遠南信地域内の転出入	704	38	704	37	-
圏域外からの転出入	1,126	62	1,196	63	▲70
合計	1,830	100	1,900	100	▲70

出所:国勢調査(平成27年)

注記:人口移動は平成22～27年の間を対象

4-2.人口移動

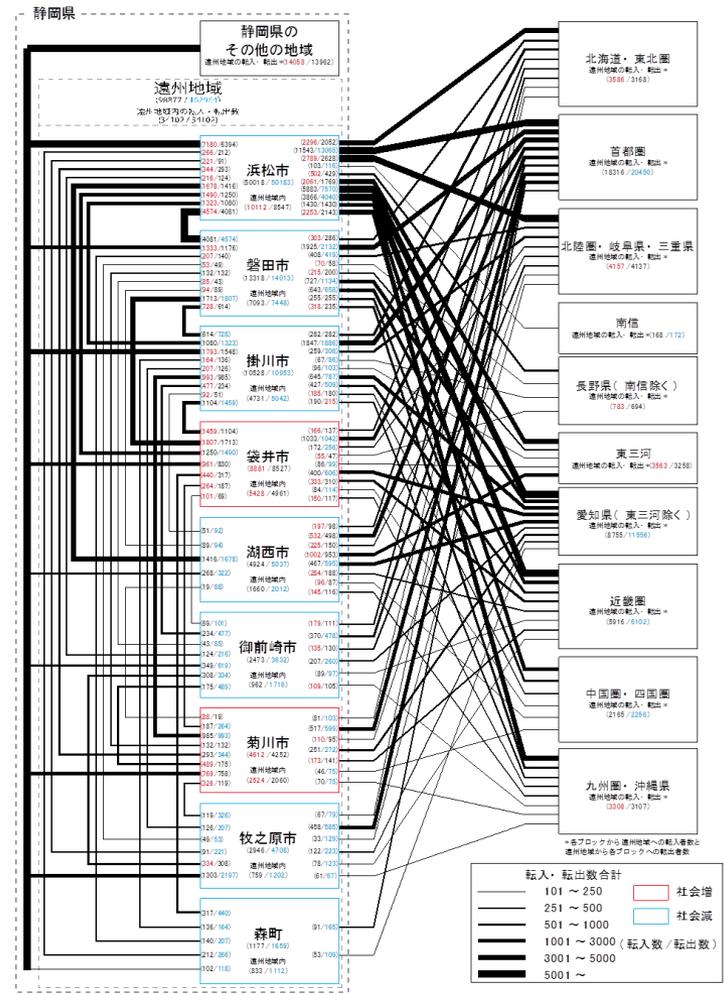
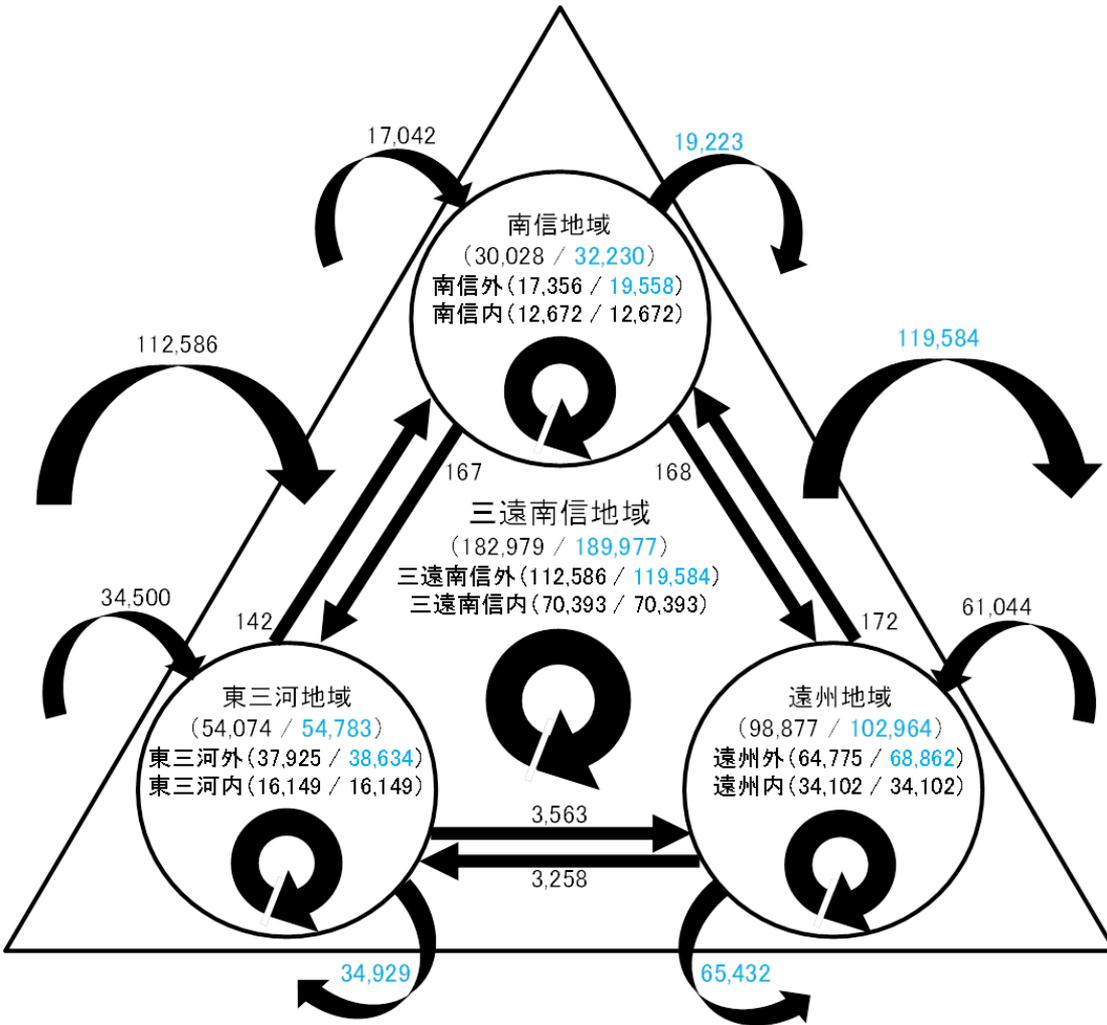


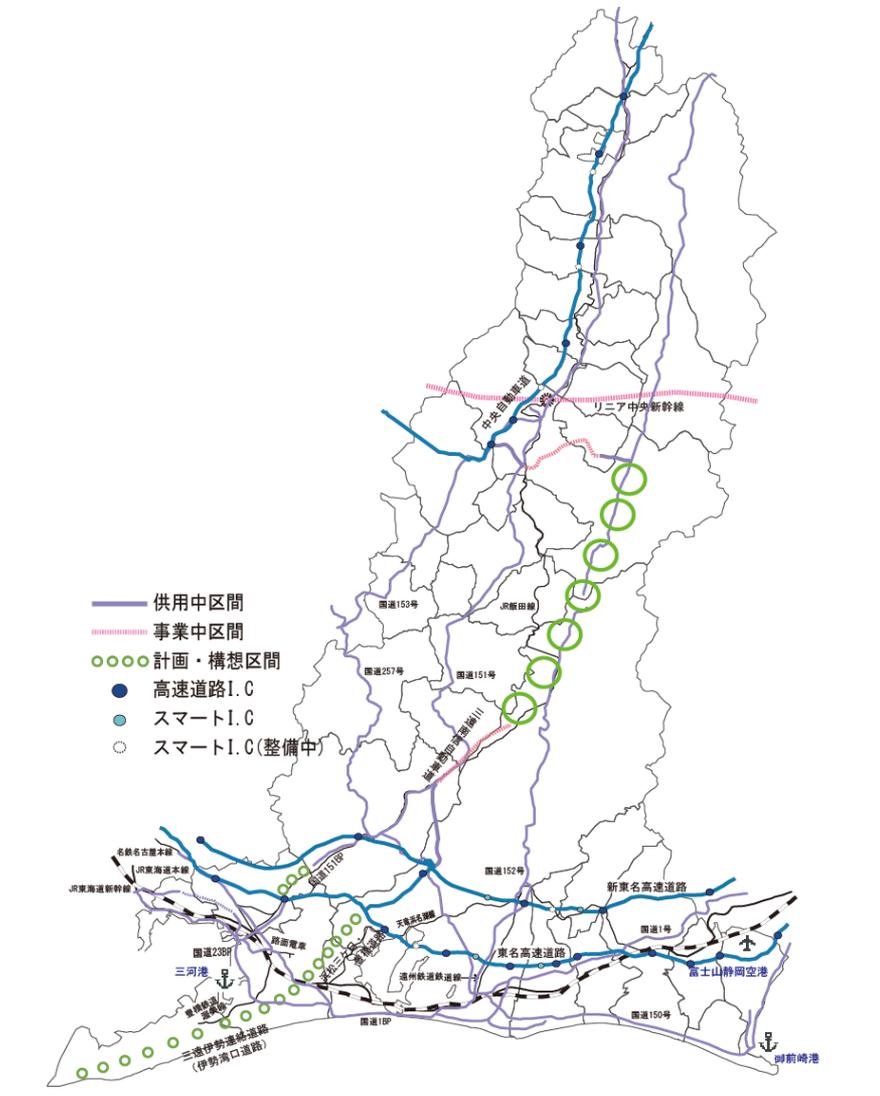
図 2010-2015における遠州地域の人口移動(平成27年国勢調査より作成)

図 2010-2015における三遠南信地域の人口移動全体構造図(平成27年国勢調査より作成) (転入/転出)

5.道路

a.重点プロジェクト	b.進捗(一部、今後の開通予定含む)	c.実施状況・留意点
①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現	<飯倉道路> ・2008年 飯田山本IC-天竜峡IC 開通 ・2013年 氏家IC、浦川IC 設置許可 ・2017年 龍江IC-飯田東IC 開通予定 ・2018年 天竜峡IC-龍江IC 開通予定 <青崩峠道路> ・2012年 青崩峠工事着工 <水窪～佐久間間> ・環境アセス手続き中 <佐久間道路・三遠道路> ・2012年 風来峡IC-浜松いなさ北IC 開通 ・2012年 浜松いなさ北IC-浜松いなさJCT 開通 ・2018年 佐久間IC-東栄IC 開通予定	○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動 ○三遠南信道路建設促進期成同盟会(3県・市町村)による国土交通省等への要望活動 ○三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動 ○三遠南信道路建設促進遠州地域期成同盟会による要望活動 ○三遠南信道路建設促進南信地域期成同盟会による国土交通省等への要望活動 ○三遠南信地域経済開発協議会の三遠南信自動車早期開通キャンペーン ○3市(浜松・豊橋・飯田)による国土交通省への要望活動 ○三遠南信自動車早期開通期成同盟会による要望活動 ○伊勢湾口道路建設促進期成同盟会の活動 ○飯倉道路3工区建設促進期成同盟会の設立 ○浜松市による国への国直轄による早期事業化の要望活動 ○飯田商工会議所による国土交通省への要望活動
②三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実	<三河港> ・2010年 新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾(重点港湾)に指定 ・2013年 ロシアウラジオストク航路就航、三河港豊橋コンテナターミナル開設15周年 ・2014年 三河港重要港湾指定50周年 <御前崎港> ・2010年 「新規の直轄港湾整備事業着手対象とする港湾」に選定 ・2015年 「みなとオアシス」に認定 <静岡空港> ・2009年 開港、相良牧之原ICからのアクセス道路開通(御前崎港とのアクセス道路) ・2015年 倉沢IC-菊川IC開着工(金谷御前崎連絡道路) <中部国際空港> ・2015年 開港10周年	○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動 ○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会による要望活動 ○国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会による要望活動 ○名豊道路建設推進協議会による要望活動 ○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動 ○三河港振興会による整備促進等の要望活動 ○静岡県西部8市長による静岡県への要望活動 ○遠州地域御前崎港活用促進協議会による国土交通省への要望活動 ○御前崎港整備促進期成同盟会、御前崎振興会による国土交通省への要望活動
③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置	・2013年 ルートと中間駅発表 ・2014年 国土交通省、品川～名古屋着工認可 ・2027年 品川～名古屋開業予定 ・2037年 名古屋～大阪開業予定	○第17回三遠南信サミット2009 in 東三河のサミット宣言において「新たな東西軸を形成するリニア中央新幹線飯田駅の設置に向けて、SENAを中心に、地域一丸となって提案活動を進める。」と宣言(H20～) ○飯田市によるリニア中央新幹線飯田駅整備推進基金設置 ○リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会(以下「同盟会」)によるリニア中央新幹線飯田駅設置総決起大会 ○同盟会によるJR東海との面談及び要望書の提出 ○リニア中央新幹線建設促進長野県協議会による国土交通省への要望書提出 ○同盟会による環境影響評価方法書への意見提出 ○地域内各団体による環境影響評価準備書に対する意見提出(パブリックコメント) ○南信州広域連合、関係自治体による環境影響評価準備書に対する県知事への意見提出 ○環境影響評価準備書に対する長野県知事意見書をJR東海に提出 ○環境影響評価書の長野県知事意見の事業者見解に関する意見提出 ○南信州広域連合、木曾広域連合、上伊那広域連合による環境影響評価書に関する要望書を長野県知事に提出 ○長野県知事による環境影響評価書に関する要望書を環境大臣に提出 ○長野県知事による環境影響評価書に関する要望書を国土交通大臣に提出
④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進	<国道151号> ・2010年 国道151号新城バイパス(新城IC接続部分)開通 <国道152号> ・2015年 国道152号小道木バイパス 開通 ・2016年 国道152号和田バイパス 開通 <国道23号> ・2013年 国道23号豊橋バイパス 開通 ・2013年 国道23号豊橋東バイパス 開通 <新東名高速道路> ・2012年 引佐連絡路(浜松いなさJCT-三ヶ日JCT)開通 ・2012年 御殿場JCT-浜松いなさJCT 開通 ・2016年 浜松いなさJCT-豊田東JCT 開通	○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進協議会による要望活動 ○浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会による要望活動 ○国道23号豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会の要望活動 ○名豊道路建設推進協議会による要望活動 ○東三河縦貫道路建設促進期成同盟会による要望活動 ○新東名高速道路の整備促進の働きかけ 平成24年度 御殿場JCT-引佐JCT間 平成27年度 浜松いなさJCT-豊田東JCT間 開通予定 ○引佐連絡路の整備促進の働きかけ 平成24年度 浜松いなさJCT-三ヶ日JCT間 ○平成29年度 浜松三ヶ日・豊橋道路、国直轄調査

・リニア中央新幹線、新東名、三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路をはじめとして、基盤整備は近10年間で長足の進展をみた。特に、リニア中央新幹線の開通計画や新東名の開通は、長期的な地域構造変化をもたらすものである。



6-1.総合計画・創生計画

・重点プロジェクトにない新規事項として、総合計画では「食農6次産業化」や「再生エネルギー」、創生計画では「食農6次産業化」、「婚活支援」等があげられる。

※それぞれ、各自治体計画での取り入れ数

総合計画と重点Pとの関連

地方創生計画と重点Pとの関連

重点プロジェクト		キーワード	東三河 (n=8)	遠州 (n=9)	南信州 (n=22)
道	①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路構想の実現	三遠南信自動車道、伊勢湾口道路／国道151号	37.5	0	36.4
	②国際ゲートウェイ機能の充実	国際ゲートウェイ施設(港湾・空港整備)／新東名・旧東名	25.0	33.3	0
	③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置	リニア中央新幹線／東海道新幹線	0	22.2	81.8
	④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進	豊橋・浜松環状道路ネットワーク(ネットワーク周辺環境・施設整備含む)	25.0	33.3	0
	⑤県境を越えるマスコミの連携	情報インフラ整備、メディア広報	37.5	0	9.1
新規	SA・PA、道の駅、自動車技術と交通システム	SA・PA、道の駅 自動車技術と交通システム	0	11.1	0
技	①三遠南信ビジネスマッチングの促進	ビジネスマッチング、起業支援(企業間交流、しんきんサミット、販路拡大、人材育成、資金援助)	12.5	44.4	45.5
	②国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進	企業誘致	87.5	100	86.4
	③特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携	産業集積・クラスター、新産業創出	25.0	55.6	31.8
	④三遠南信地域大学フォーラムの設置	大学連携(知の拠点構想、学輪IIDA)	37.5	11.1	22.7
新規	食農6次産業化	食農6次産業化	50.0	77.8	68.2
新規	再生エネルギー(森林資源、エネルギー自給)	再生エネルギー(森林資源、エネルギー自給)	37.5	77.8	90.9
風土	①「塩の道」風景街道の体制づくり	風景街道、日本遺産・民俗芸能、NHK大河	25.0	33.3	18.2
	②地域資源を活かす鉄道の有効活用	鉄道観光(天浜線、飯田線、渥美線を活かした活性化)	12.5	22.2	50.0
	③海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進	広域的な観光(インバウンド、広域連携)	50.0	66.7	59.1
	④三遠南信アンテナショップの開設	特産品PR	62.5	55.6	95.5
山	①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進	水源管理	50.0	0	22.7
	②上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備	地域間交流、移住定住関連(雇用・住宅支援のみ)	62.5	55.6	77.3
住	①医療分野の県境を越える連携の促進	広域連携による医療・救急体制強化	100	88.9	54.5
	②三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進	広域連携による公共施設有効利用、三遠南信に関する展示・催し	12.5	11.1	4.5
	③県境を越える防災体制の強化	広域連携による防災体制強化(ボランティア受入・派遣含む)	25.0	11.1	18.2
新規	廃校利用、軽トラ市、まちづくり	廃校利用、軽トラ市、まちづくり	37.5	44.4	9.1

東三河 (n=8)	遠州 (n=9)	南信州 (n=22)
12.5	0	0
25.0	33.3	0
0	0	13.6
0	0	0
12.5	22.2	31.8
50.0	0	18.2
100	88.9	100
87.5	88.9	68.2
50.0	44.4	54.5
25.0	44.4	59.1
37.5	77.7	68.2
37.5	33.3	36.4
37.5	33.3	27.3
37.5	0	0
100	100	95.5
75.0	55.6	59.1
25.0	0	13.6
100	77.8	100
62.5	33.3	54.5
25.0	22.2	27.3
50.0	66.7	72.7
12.5	22.2	4.5

6-2.事業計画

・2016年年度調査で、**重点プロジェクトに直接関連する市町村事業は364あり、「技」「風土」「山」の分野に多い。**

重点プロジェクト		関連キーワード	該当事業数			
			東三河	遠州	南信州	
道	①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現	高規格道路(三遠南信自動車道、伊勢湾口自動車道)	7	1	3	3
	②三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実	港湾、空港整備	8	5	3	0
	③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置	リニア中央新幹線	12	1	0	11
	④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進	豊橋・浜松環状道路、周辺アクセス	5	5	0	0
	⑤県境を越えるマスコミの連携	情報インフラ整備	2	1	0	1
技	①三遠南信ビジネスマッチングの促進	企業間交流、起業支援、販路拡大	9	3	3	3
	②国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進	企業誘致・企業立地、人材育成	91	18	24	49
	③特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携	産業クラスター、新産業創出、6次産業	30	7	6	17
	④三遠南信地域大学フォーラムの設置	大学との連携	17	3	6	8
風土	①「塩の道」風景街道の体制づくり	民俗芸能、伝統文化	18	2	5	11
	②地域資源を活かす鉄道の有効活用	鉄道を生かした活性化	5	1	2	2
	③海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進	インバウンド、魅力向上	21	6	12	3
	④三遠南信アンテナショップの開設	特産品(販路拡大・ブランド化)	39	9	15	15
山	①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進	水源管理	8	4	3	1
	②上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備	移住定住促進(雇用・住宅・交流関連)	51	13	8	30
住	①医療分野の県境を越える連携の促進	医療・救急体制の広域化	9	2	1	6
	②三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進	公共施設活用の広域化	21	7	10	4
	③県境を越える防災体制の強化	防災体制の広域化	11	5	5	1

7.行政の事業意向

・SENA構成市町村(企画担当課)を対象にした次期ビジョンにおける重点プロジェクトについて

黄色 広域的な施策意向が高い(平均値が高く、標準偏差が低い)

緑色 中心3市以外からの広域的な施策意向が高い

赤点線 狭域市町村での施策意向が高い

施策名	平均値	標準偏差	施策名	平均値	標準偏差	施策名	平均値	標準偏差
三遠南信自動車道に対する要望	4.67	0.57	ソーシャルビジネスへの支援	3.33	0.65	新たな観光資源の発掘	4.03	0.66
広域交通ネットワークへのアクセスのための環境整備	4.44	0.67	産業人材の育成	3.90	0.71	地場産品の販促プロモーション	4.15	0.66
港湾施設の利用促進	2.92	1.16	航空宇宙産業の育成と拠点整備	3.59	0.98	地産地消の推進	3.82	0.81
空港施設の利用促進	2.90	1.08	先端自動車技術に関する産業振興	3.49	0.84	物産品に関するイベント(軽トラ市等)の誘致・開催	3.69	0.69
SA・PA・道の駅ネットワークの利用促進	3.87	0.72	食農に関する6次産業化	4.05	0.75	首都圏ほかでのアンテナショップの運用	3.95	0.71
リア新幹線建設に向けた事前準備	4.23	0.73	再生エネルギー開発の促進	3.59	0.81	水源地域の環境保全	4.10	0.67
東海道新幹線の再生	3.15	0.92	産官学連携の促進	3.97	0.80	水資源の安定確保に関する取組の促進	4.00	0.72
浜松三ヶ日・豊橋道路に対する要望	3.46	0.98	学生による多様な社会貢献活動の促進	3.56	0.84	交流や体験を通じた移住定住の促進	4.18	0.81
浜名湖水上交通の実現	2.54	1.01	大学による地域教育講座等への支援	3.64	0.66	住居取得など助成制度を通じた移住定住の促進	3.87	0.85
スマートインターの設置・活用	3.67	0.86	有形文化財の保全と活用	3.79	0.76	空き家に関する情報集約と発信	3.82	0.81
高速通信情報網の整備・拡張	3.87	0.94	無形文化財の保全と活用	3.82	0.78	雇用確保や新規就農支援を通じた移住定住の促進	3.97	0.92
公共交通システムの整備・拡張	3.95	0.81	祭り文化の発信	4.00	0.75	地域医療体制の充実	4.51	0.59
展示会や商談会を通じたマーケティング支援	3.74	0.71	飯田線を生かした周辺地域の活性化	4.08	0.83	建物系公共施設の利活用の促進	3.38	0.92
起業に対する支援	3.82	0.81	天竜浜名湖線を生かした周辺地域の活性化	3.15	1.00	図書館情報ネットワークの整備・運用	3.15	0.66
首都圏ほかでの企業誘致イベントの開催	3.72	0.71	インバウンド獲得のための観光プロモーション	3.90	0.78	地域防災体制の充実	4.59	0.63
用地取得・助成制度を通じた企業活動の促進	3.56	0.87	イベントや商談会を通じての観光情報発信	4.08	0.66			

8.地域活動団体、商工会議所・商工会の事業意向

・三遠南信地域の地域活動団体、商工会議所・商工会からの**事業意向**調査

